

登録コード	E4662900	開講年度	2026			
授業科目	中等体育科指導法演習				担当教員	藤田 育郎
英文授業名	Seminar in Teaching Method of Physical Education in JuniorHigh School				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生
講義室	教育第1体育館		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	中学校における体育授業を指導する具体的なイメージを形成することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	模擬授業を通して中学校体育における学習内容や指導方法について理解することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	運動領域ごとに以下①～④の手続きを繰り返す。 ①単元計画, 学習指導案, 教材・教具, 学習資料を作成し, 授業を計画する。 ②時間管理, 言葉かけ, 安全管理など, 具体的な指導を通して, 授業を実施する。 ③授業分析および授業評価の手法とその機能について理解し, 授業を反省する。 ④授業分析および授業評価データに基づいて, 授業を改善する。					
(5)授業計画	第1回：授業分析・授業評価の意義と方法 第2回：教材づくりの意義と方法 第3回：授業映像視聴（教師行動に着目して）, 指導計画作成と教材づくり 第4回：授業映像視聴（教材・学習課題に着目して）, 指導計画作成と教材づくり 第5回：模擬授業のリハーサル 第6回：模擬授業①（体づくり運動） 第7回：模擬授業②（器械運動） 第8回：模擬授業①, ②の振り返り：授業分析・授業評価データからみた授業改善 第9回：模擬授業③（陸上競技） 第10回：模擬授業④（球技：ゴール型） 第11回：模擬授業③, ④の振り返り：授業分析・授業評価データからみた授業改善 第12回：模擬授業⑤（球技：ネット型） 第13回：模擬授業⑥（球技：ベースボール型） 第14回：模擬授業⑤, ⑥の振り返り：授業分析・授業評価データからみた授業改善					
(6)成績評価の方法	「小・中・高等学校における体育授業を担当するに相応しい知識・技能」を身に付けられたかどうか, 以下によって判定する。 ・毎回の模擬授業に対する振り返りシート：100% 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	i) 問題の設定が適切である。ii) その問題の背景を説明できている。iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。iv) それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。v) その上で自分の見解を提示できている。以上 i) から v) の5項目を満たしていれば「卓越している」。4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目を満たしていれば「やや上にある」。2項目を満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	事前にe-Alpsに掲示するレジュメについて, 事前学習をおよび事後学習を行うこと					
(9)履修上の注意	・中等保健体育科指導法基礎を履修済みであること。 ・模擬授業の運営に支障が出るため, 欠席および遅刻をしないこと。					
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	授業の前後に随時対応する。緊急の連絡はメールで受け付ける。 アドレス：ifujita@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	特になし。					
【参考文献】	中学校学習指導要領解説 保健体育編 東山書房, 386円 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 東山書房, 478円					